

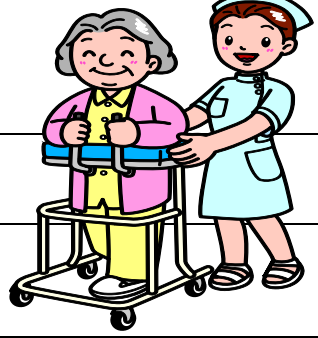




No.1 変形性膝関節症 人工膝関節置換術を受けられる患者様へ 氏名(@PATIENTNAME)様 主治医() 受持ち看護師()

暦日	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	
病日	手術前日	手術当日(行くまで)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目
達成目標	手術・麻酔に対する不安が表出できる 手術前の検査が終了し準備が整っている 手術の必要性を理解し同意できる	落ち着いて手術を受けることができる	鎮痛剤を使用し疼痛の緩和ができる 下肢の神経、循環障害がない 安静度を守り、ドレナージが効果的にできる	鎮痛剤を使用し疼痛の緩和ができる 下肢の神経、循環障害がない 創部の感染兆候がない	鎮痛剤を使用し疼痛の緩和ができる 下肢の神経、循環障害がない 創部の感染兆候がない スムーズに離床できる	鎮痛剤を使用し疼痛の緩和ができる 創部の感染兆候がない 板付き車椅子に移乗できる (歩行できる方は歩行訓練をします)
治療 処置 薬剤 リハビリ	髭剃り、爪切りをしてもらいます 弾性ストッキングのサイズを測定します <準備するもの> 浴衣・T字帯 バスタオル  大腿周囲(膝上10cm)と下腿周囲(最大径)の計測を看護師が行います 大腿周囲径()cm 下腿周囲径()cm	内服薬がある方は看護師が持ってきてしますので内服してください 手術開始が9時以外の方は9時頃から点滴を開始します 点滴の前には、安全のために必ず患者様の名前を確認します。	点滴や酸素マスクをしています 創部にはドレーンが入っています 抗生剤の点滴が定期的にあります 定期的に検温をします 痛みがある時には我慢せずに伝えてください 	創部に留置しているドレーンが抜けないように注意しましょう 抗生剤の点滴があります リハビリが開始になります(平日のみ)	創部に留置しているドレーンを抜去します 抗生剤の点滴があります 平日は毎日リハビリがあります 	大腿周囲(膝上10cm)と下腿周囲(最大径)の計測を看護師が行います 大腿周囲径()cm 下腿周囲径()cm 膝関節の他動運動をCPMという機械を使って実施します(1時間) 平日は毎日リハビリがあります
検査	心電図、心エコー、胸写、採血などが終了しているか確認します			起床後に採血があります		起床後に採血があります
活動 安静度	普段と変わりありません  		ベッド上安静で過ごしてもらいます 術後は創部や膀胱に管を留置していますので、チューブ類が抜けたりしないように注意する必要があります 装具を使用し、クッションで足を拳上します	術翌日から足に体重をかけて良いです 離床する場合は、膝を伸展させる装具を装着し、板付き車椅子を使用します	ドレーン抜去後は離床をしましょう 車椅子移動に慣れるまでは看護師が介助や見守ります 	
栄養 (食事)	普段と変わりありません 絶飲食を開始する時間の説明があります	絶飲食の時間を守ってください 食事()時まで可 飲水()時まで可	術後は絶飲食です 開始については医師や看護師が伝えます 	朝食を半分以上摂取出来れば点滴は終了します	制限はありません 	
清潔	洗髪、シャワー浴をしてもらいます			創部を汚染ないように清拭を行います		創部が防水できればシャワー浴可能になります
排泄	普段と変わりありません		膀胱に管が入っており、尿は自然に出ているので心配はいりません 	疼痛に応じて膀胱の管を抜きます		
説明 指導	麻酔の先生からのお話があります 喫煙は控えてください 手術する足に主治医が印をつけます		長い間仰向けになりますので、苦痛を伴うと思います。自分で動かずに看護師にお伝えください	痛みが強い場合は我慢せずに看護師に伝えてください		

暦日	/ () ~ / ()	/ ()	/ () ~ / ()	/ ()	/ () ~ / ()
病日	手術後4~6日目	手術後7日目	手術後8~13日目	手術後14日目	手術後15~20日目
達成目標	鎮痛剤を使用し疼痛の緩和ができる 創部の感染兆候がない 板付き車椅子への移乗ができる (歩行できる方は歩行訓練を!!)	鎮痛剤を使用し疼痛の緩和ができる 創部の感染兆候がない 歩行器、T字杖を使用しトイレまで歩行ができる (付き添いもしくは自立)	鎮痛剤を使用し疼痛の緩和ができる 創部の感染兆候がなく術後10日目に抜糸ができる 歩行器、T字杖を使用しトイレまで歩行ができる (付き添いもしくは自立)	鎮痛剤を使用し疼痛の緩和ができる 創部の感染兆候がない 病棟内を歩行できる	鎮痛剤を使用し疼痛の緩和ができる 創部の感染兆候がない 病棟内を自分で歩行訓練できる 日常生活動作が自己にてできる 退院に向けて不安なことを解決することができる(必要時には試験外泊もできます)
治療 処置 薬剤 リハビリ	膝関節の他動運動をCPMという機械を使って実施します(1時間) 平日はリハビリの先生が来られます 	大腿周囲(膝上10cm)と下腿周囲(最大径)の計測を看護師が行います 大腿周囲径()cm 下腿周囲径()cm 膝関節の他動運動をCPMという機械を使って実施します 平日は毎日リハビリがあります	術後10日を目安に抜糸をします 膝関節の他動運動をCPMという機械を使って実施します(120度達成にて終了へ) 土日祝日は自主訓練をしましょう	大腿周囲(膝上10cm)と下腿周囲(最大径)の計測を看護師が行います 大腿周囲径()cm 下腿周囲径()cm	
検査		採血、レントゲンがあります 		採血、レントゲンがあります	
活動 安静度	制限はありません			歩行訓練を頑張りましょう	
栄養 (食事)	制限はありません				制限はありません 
清潔	創部が防水できればシャワー浴可能になります	移動動作が安定するようになれば、シャワー浴は自立になります			
排泄	普段と変わりありません				
説明 指導	積極的にリハビリに参加しましょう 疼痛がある場合には看護師に伝えてください		抜糸後に出血などがありましたら看護師に伝えてください リハビリの状態を見て、自宅退院可能か、転院が必要かを主治医、看護師と相談しましょう	今後の方針を主治医、看護師と話し合い決定しましょう	退院・転院に向けて不安がある場合には、医師や看護師に相談して下さい